



MS313-18001/2 リヤバンパースポイラー

取付・取扱要領書

この度はTRDハイレスポンスマフラー専用リヤバンパースポイラーをお買い上げいただきありがとうございます。

本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。

取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。

なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS313-18001-A1	クリスタルホワイトパール (K1X)	86'16.07~ マイナーチェンジ以降
MS313-18001-C0	クリスタルブラックシリカ (D4S)	
MS313-18001-D1	ピュアレッド (M7Y)	
MS313-18001-E0	オレンジメタリック (H8R)	
MS313-18002-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

* 本商品はTRDハイレスポンスマフラー(MS153-18004)装着車専用となります。

純正マフラーを含み、他社製マフラーとの同時装着は出来ません。

ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着は出来ません。

■ 構成部品

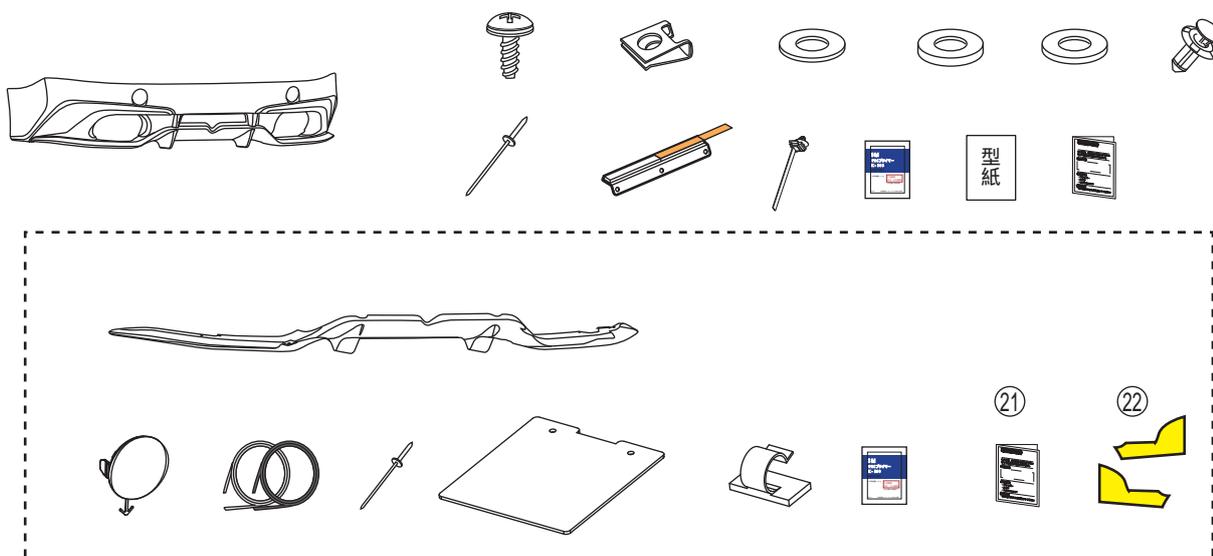
以下、MS313-18001構成部品

品名	個数	備考
リヤバンパースポイラー	1	
タッピングスクリュー	4	5 × 16
Jナット	4	
ラバーワッシャー	2	t = 1 mm
ラバーワッシャー	2	t = 3 mm
ラバーワッシャー	4	t = 2 mm
クリップ	4	
リベット	8	
ブラケット	(各1)	
バンドクランプ	1	
PACプライマー	1	K - 5 0 0
型紙	2	
取付・取扱要領書(本書)	1	本書

確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。
以下、MS313-18002-NP(未塗装品セット)のみに同梱

品名	個数	備考
別ピース	1	
牽引フックカバー	2	
モール	(各1)	黒/グレー L=2370mm
リベット	16	
プレート	2	
ハーネスクランプ	1	
PACプライマー	1	K - 5 0 0
⑳ 未塗装品取付要領書	1	
㉑ 抜きマスキングテープ	(各1)	

■ 構成部品図



~ ㉑は未塗装品にのみ同梱

Racing Development

TRD

トヨタ テクノクラフト株式会社

〒222 0002 横浜市港北区師岡町800 TEL (045)540 2121 FAX (045) 540 2122

取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20 以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起こしますので70 以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

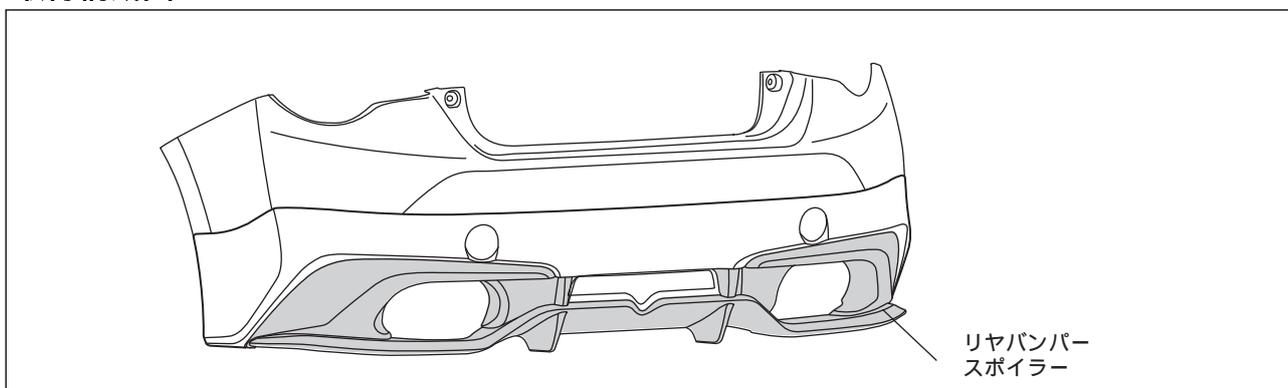
目次

- 1 . 表紙、適合表 1
- 2 . 構成部品表、構成部品図 2
- 3 . 取付け・取扱いご注意(作業の方へ) 3
- 4 . 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付け要領 4
- 5 . 取付け要領 4 ~ 1 2
- 6 . 取付け後の確認・点検 1 2

取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具(ハサミ、カッター、ドリル、キリ、エアソー、リベッター等)・ヤスリ
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

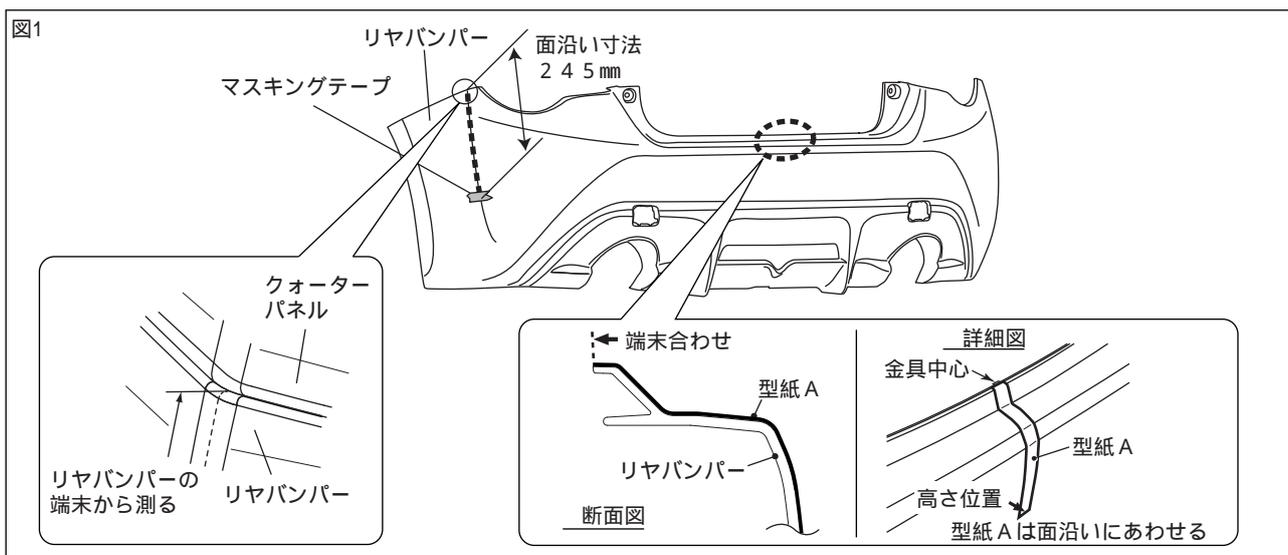
取付構成図



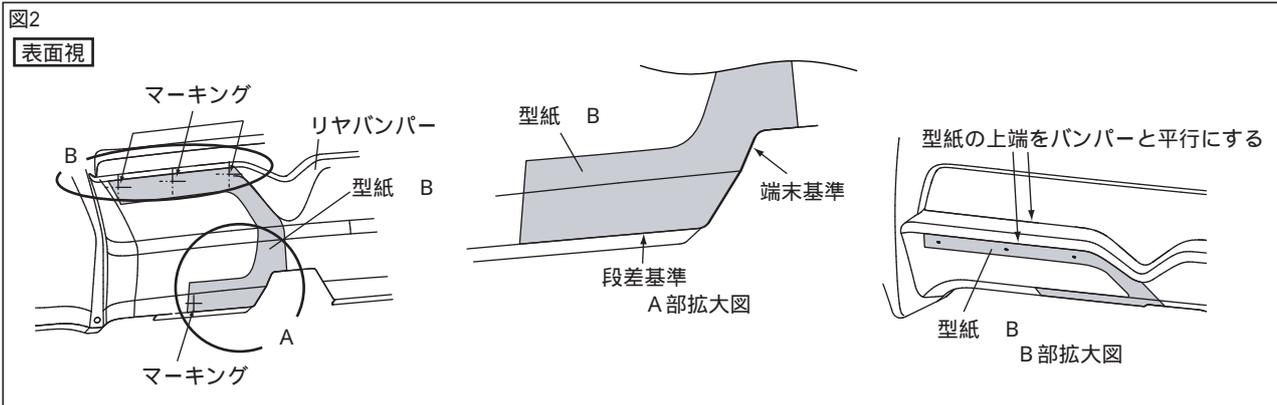
未塗装品の方は、未塗装品取付要領書に従い、取付作業をしてください。

取付準備

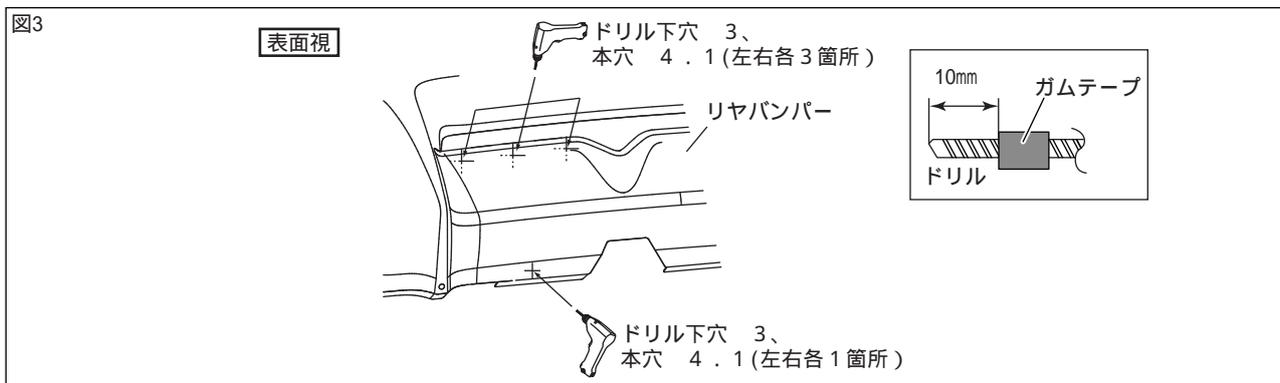
本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



1. 図1のように型紙 A を切り取り、リヤバンパースポイラーに貼り付ける。(1箇所)
2. 図1のようにリヤバンパースポイラーのキャラクター面沿い寸法を測りマスキングテープを貼り付ける。(左右各1箇所)



3. 図2のように型紙 Bを切り取り、リヤバンパーに貼り付けてマーキングを行い、型紙 Bを剥がす。
(左右各4箇所)

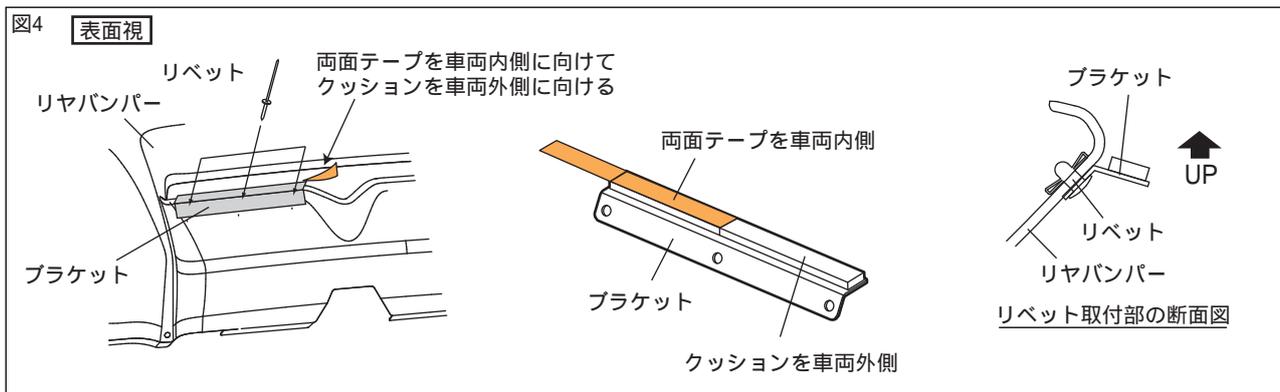


4. 図3のように 3、 4 . 1のドリルの先端にストッパーになるようにガムテープを巻きつけ、リヤバンパーのマーキング位置に、 3のドリルで下穴加工を行い、 4 . 1のドリルで本穴加工を行う。
(左右各4箇所)

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

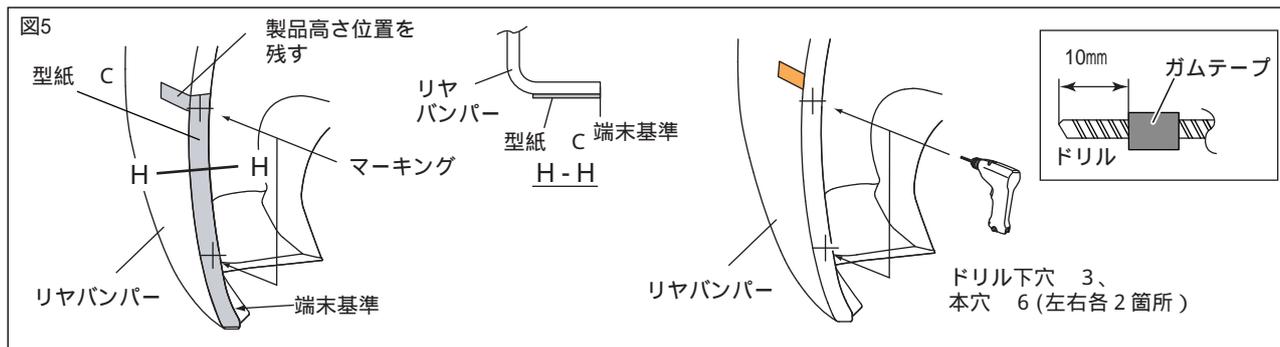
△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。



5. 図4のようにブラケット の離型紙がセンター側に向くようにリベット でリヤバンパーに固定する。
(左右各3箇所)

△注意：図4のようにブラケット の向きに注意してください。逆に取付けるとリヤバンパースポイラーが取付かなくなります。



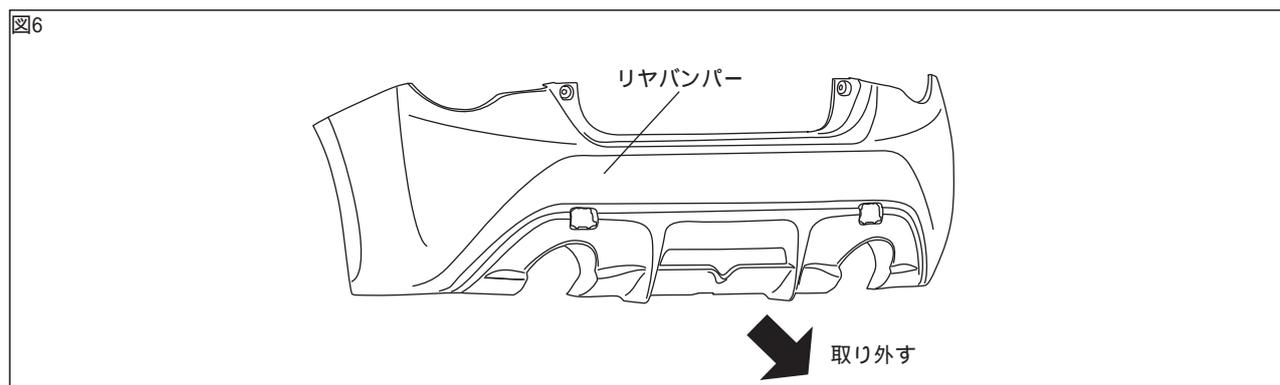
6. 図5のように型紙 C を切り取り、リヤバンパーに貼り付けてマーキングを行い、高さ位置を残して型紙 C を剥がす。
(左右各 2箇所)

7. 図5のように 3、6 のドリルの先端にストッパーになるようにガムテープを巻きつけ、リヤバンパーのマーキング位置に、3 のドリルで下穴加工を行い、6 のドリルで本穴加工を行う。
(左右各 2箇所)

 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

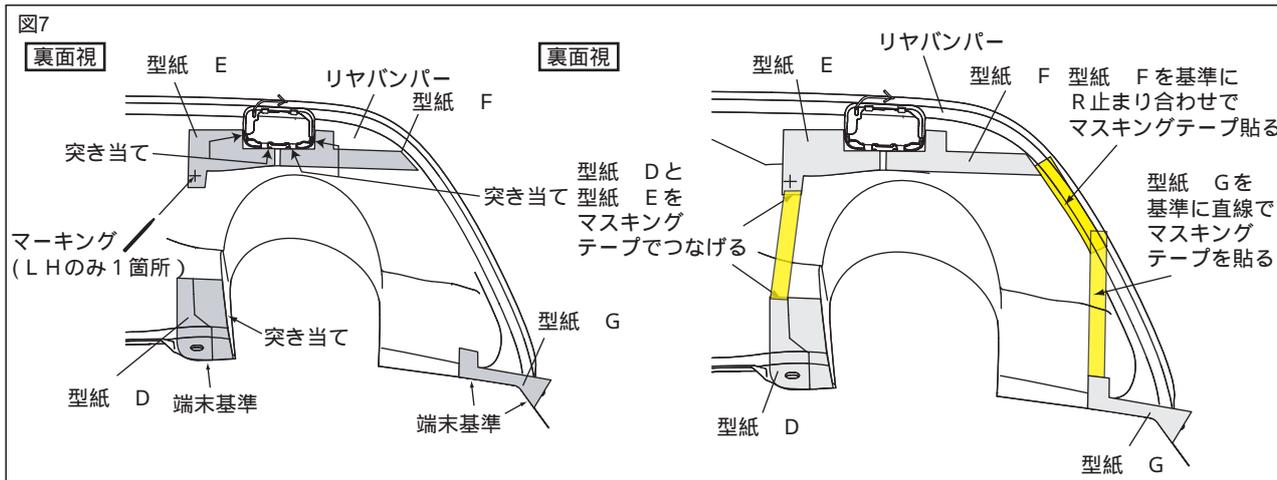
 注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。



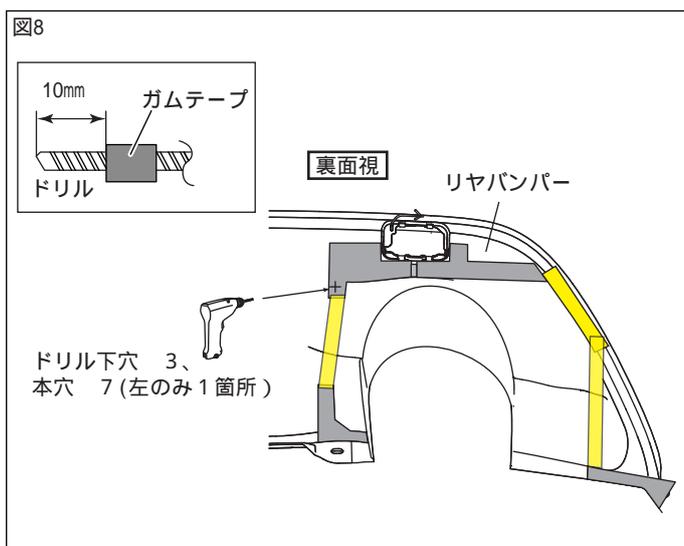
車両修理書に従い、リヤバンパーを外してください。

 注意：取外した車両ボルトとクリップは、再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

 注意：バンパー取り外し後の加工作業は作業台等の安定した場所で行い、部品の落下やキズ付きに十分注意してください。



- 8. 図7のように型紙 D ~ Gを切り取り、リアバンパーに貼り付ける。 (左右各4箇所)
- 9. 図7のように型紙 Dと型紙 Eに合わせてマスキングテープでつなげる。 (左右各1箇所)
- 10. 図7のように型紙 Fを基準にR止まり合わせてマスキングテープを貼り、型紙 Gを基準に直線でマスキングテープを貼りつなげる。 (左右各3箇所)

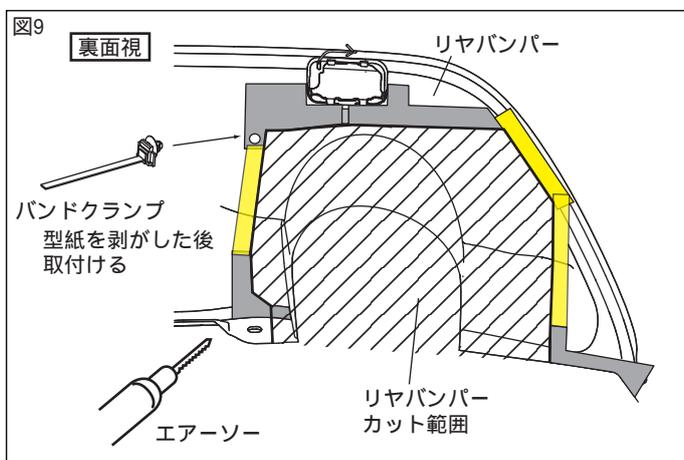


- 11. 図8のように 3、7のドリルの先端にストッパーになるようにガムテープを巻きつけ、リアバンパーのマーキング位置に、3のドリルで下穴加工を行い、7のドリルで本穴加工を行う。 (左のみ1箇所)

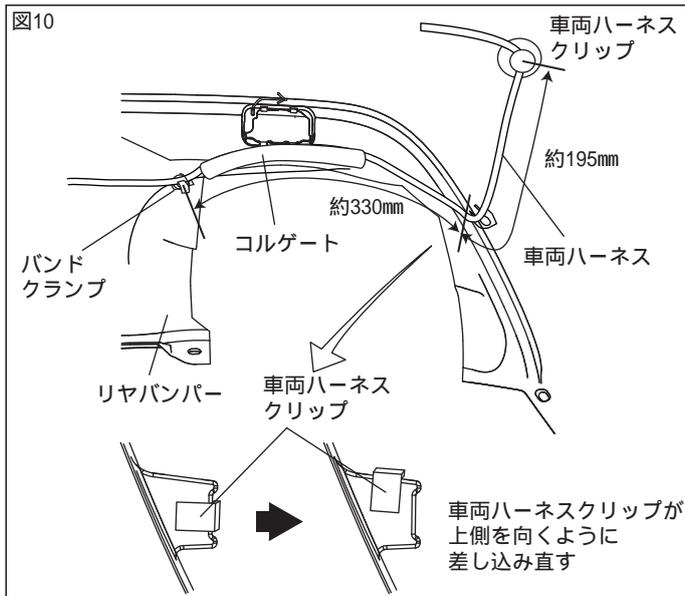
アドバイス: 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

注意: 作業時は保護メガネを着用してください。

注意: バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

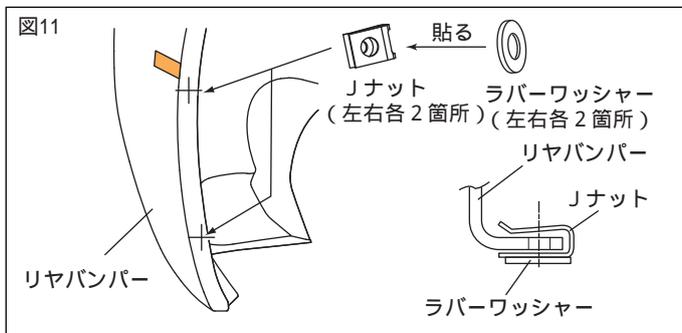


- 12. 図9のようにリアバンパーのマーキング位置を斜線部を参考に、エアソー等で切り取り、バリを取り除く。 (左右各1箇所)
- 13. カット部分の型紙とマスキングテープを剥がす。
- 14. 11.で穴開けした箇所に、バンドクランプを差し込む。 (LH 1箇所)



15. 図10のように車両ハーネスクリップの差し込み向きを変更し、COLGATEの位置をマフラー上部にくるように調整する。
16. 図10の寸法を参考に車両ハーネスのゆるみがないように取付ける。

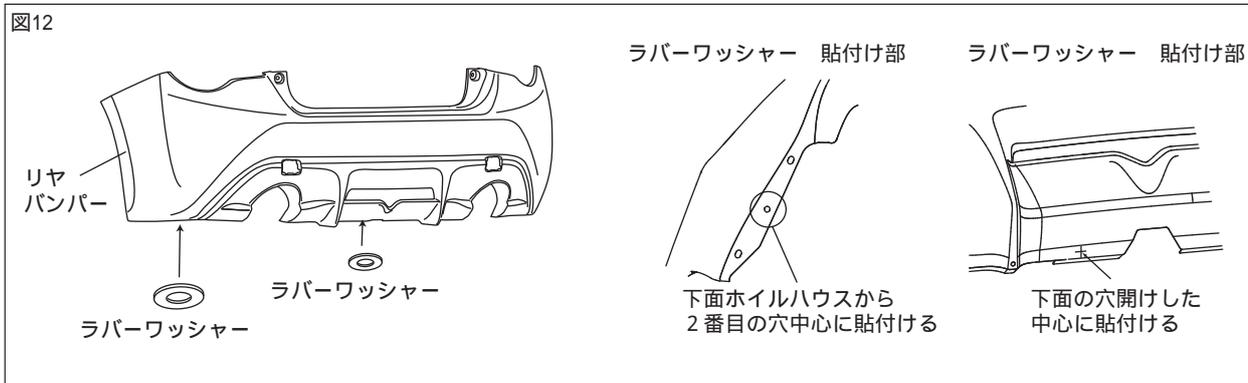
△注意：車両ハーネスがしっかり固定されているかと、ゆるみがないか確認してください。



17. 図11のようにリアバンパーのホイールハウスにJナットを差し込む。
(左右各2箇所)

△注意：図11のようにJナットの差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクリューが取付かなくなります。

18. 図11のようにラバーワッシャーをJナットに貼付ける。
(左右各2箇所)

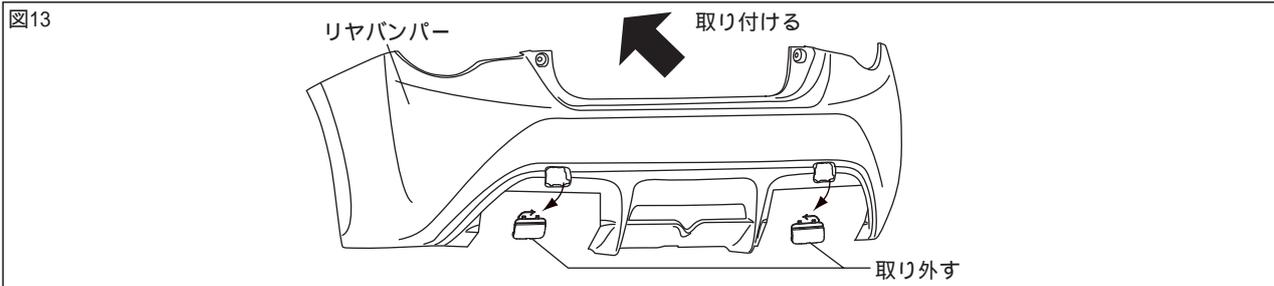


19. 図12のように、リアバンパーのリアバンパースポイラー取付部とラバーワッシャー貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方にふいて脱脂し、ラバーワッシャー(左右各2箇所)を貼付ける。

👉 アドバイス：脱脂作業要領書(別紙)を参照してください。

👉 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

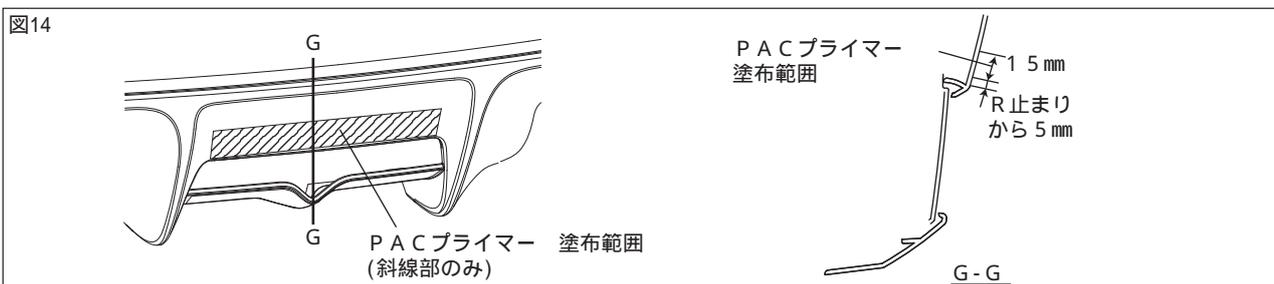
△注意：ラバーワッシャーは厚みが違います。貼付位置を間違えないように十分注意してください。



20. 車両牽引フックカバーを取り外す。(左右各1箇所)

車両修理書に従い、リヤバンパーを取付けてください。

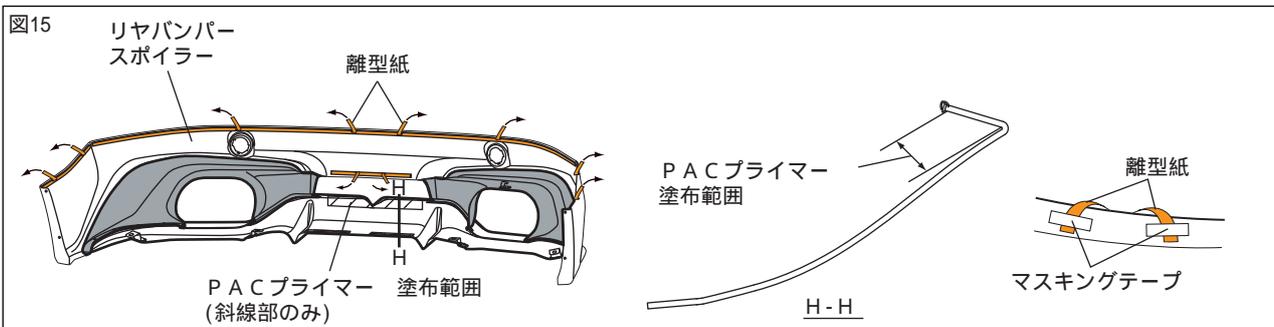
△注意：取外した牽引フックカバー(左右各1箇所ずつ)は再使用しません。



21. 図14のように車両シボ面の斜線部をIPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂してから、斜線部だけにPACプライマー-K-500を塗布する。

👉 アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

⚠️ 警告：指示部以外にプライマーを付着させますと、塗装面にダメージを与える事になる為、十分注意して作業してください。



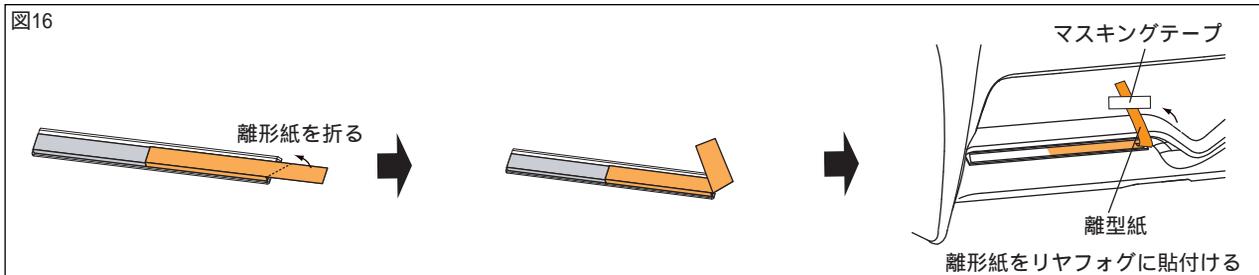
22. 図15のようにリヤバンパースポイラーのブラケットの両面テープ貼付け部をIPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂してから、PACプライマー-K-500を塗布する。

👉 アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

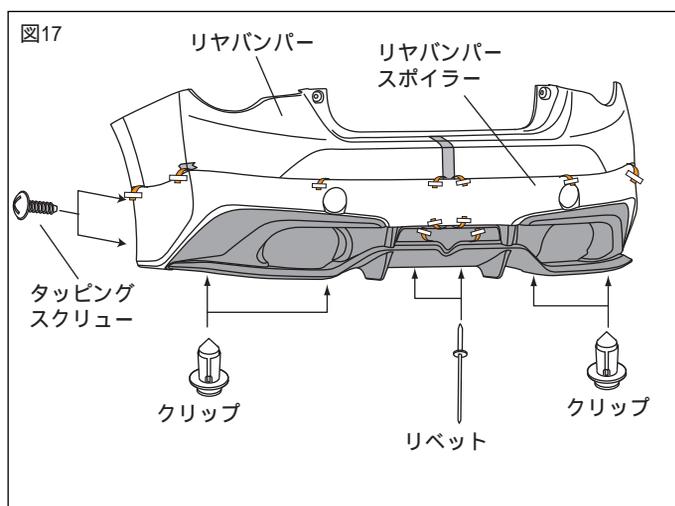
⚠️ 警告：指示部以外にプライマーを付着させますと、塗装面にダメージを与える事になる為、十分注意して作業してください。

23. リヤバンパースポイラーの両面テープの離型紙を、図15のように中央から外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。(左右各5箇所)

△注意：指示部以外の両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。



24. 図4でリヤバンパーに固定したブラケットの両面テープの離形紙を、図16のように折り曲げ、マスキングテープ等でリヤフォグに貼付ける。(左右各1箇所)



取付要領

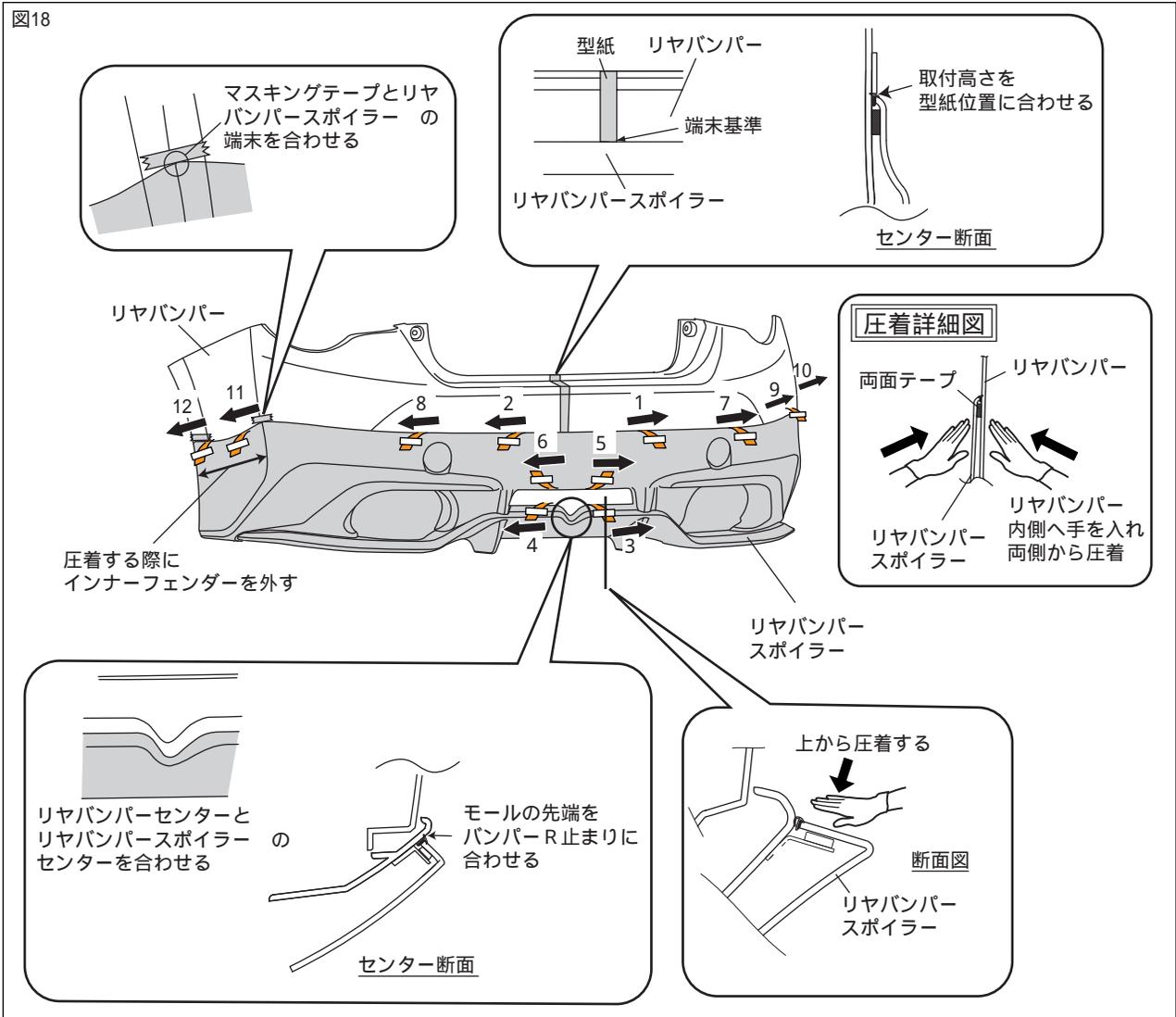
本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. リヤバンパー スポイラー をリヤバンパーにかぶせ、クリップ で下面を固定する。(左右各2箇所)
2. タッピングスクリュー で仮締めする。(左右各2箇所)
3. リベット をマスキングテープで仮固定する。(左右各1箇所)

 **アドバイス:** 本商品の取付けは、2名以上で作業を行ってください。

△注意: リヤスポイラーを仮合わせした際に、リヤバンパー加工部と干渉が無い事を確認してください。干渉がある場合は、干渉が無くなるようにリヤスポイラーを仮合わせしながら、慎重に追加工を行ってください。

図18



4. 図18の断面図を参考にリアバンパースポイラーをマーキング位置に合わせ、左右のズレ、隙が無いが確認し、両面テープの離型紙(左右各6箇所)を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。
 { 49 N (5 k g f) 以上 }

⚠ 注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。

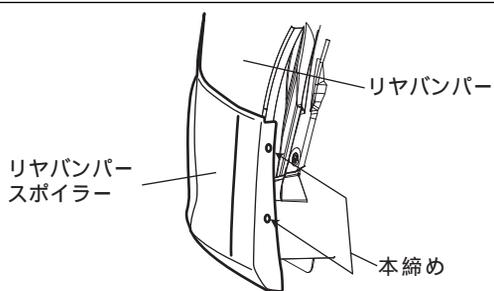
⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠ 警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。

⚠ 注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉 アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

図19

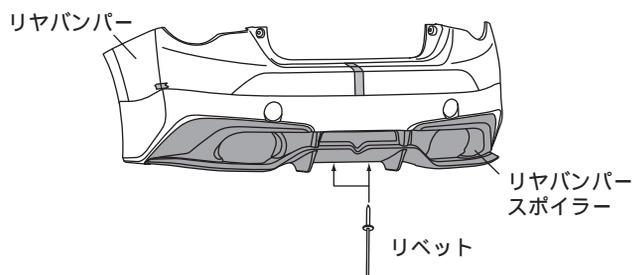


5. 図19のように仮締めしておいたタッピングスクリー を本締めする。
(左右各 2箇所)



アドバイス: オーバートルクでの締付けは、タッピングスクリー・Jナットが破損する恐れがあります。

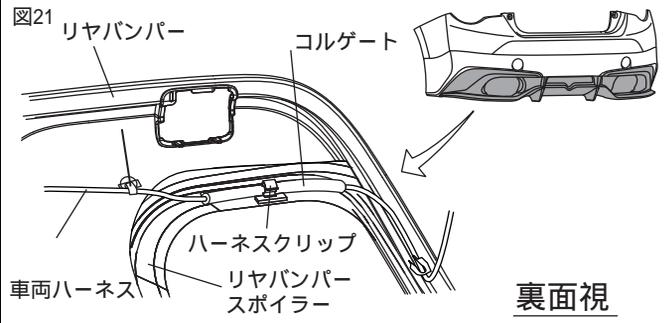
図20



6. 図20のようにリヤバンパー スポイラー をリベット でリヤバンパーに固定する。
(左右各 1箇所)

7. 全ての型紙・マスキングテープをはがす。

図21



8. 車両左側のマフラー上部裏面にある、車両ハーネスをリヤバンパー スポイラー の裏面のハーネスクリップに留める。
(1箇所)

△注意: 車両ハーネスが確実に固定されているか確認し、垂れ下がり、突っ張りがないように車両ハーネスを調整してください。

取付完了後の点検・注意事項

1. リヤバンパー スポイラーがスクリー・クリップにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. リヤバンパー スポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 図19のハーネスクリップに車両ハーネスが正しく取付けられているか確認する。
4. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。